

2020年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

1 「COOL CHOICE」

環境局環境保全部環境保全課

2 「パラスポーツ」

総合政策局オリンピック・パラリンピック推進部オリンピック・パラリンピック調整課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「COOL CHOICE」 1
・ 「パラスポーツ」 2
・ その他 4

回答者属性

回答者数	969人
------	------

性別		
男	460	47.5%
女	461	47.6%
その他	5	0.5%
未回答	43	4.4%

職業		
会社員	323	33.3%
自営・自由業	39	4.0%
パート・アルバイト	159	16.4%
公務員	51	5.3%
学生	37	3.8%
専業主婦・主夫	182	18.8%
無職	148	15.3%
その他	30	3.1%

年代		
～10代	27	2.8%
20代	41	4.2%
30代	124	12.8%
40代	235	24.3%
50代	244	25.2%
60代	151	15.6%
70代以上	147	15.2%

居住区		
中央区	179	18.5%
花見川区	151	15.6%
稲毛区	152	15.7%
若葉区	97	10.0%
緑区	127	13.1%
美浜区	232	23.9%
市外	31	3.2%

2020年度 第10回

調査名	「COOL CHOICE」「パラスポーツ」
調査期間	2020年12月28日(月)午前10時～2021年1月10日(日)午後5時
回答者数	969人

※割合(%)は、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。
 ※複数回答の割合(%)は、各設問の対象者数を基数(n)としているため、割合の合計が100%を超える場合があります。

概要:

<p>1「COOL CHOICE」 「COOL CHOICE(クールチョイス)」※に関する認知度などをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。 ※「賢い選択」を意味し、地球温暖化防止に効果のある物や行動を選択することです。</p> <p>2「パラスポーツ」 本市では、障害のある人もない人も、スポーツを通してともに交流できるまちづくりを進めており、皆様のパラスポーツ※に関する意識を把握し、施策に活用いたします。 ※本市では、パラリンピック競技だけでなく、広く障害者スポーツを表す言葉として使用していません。</p>
--

参考URL

<http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/ondanka/cool-choice.html>
<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/opsuishin/opchousei/parasports.html>

Q1: はじめに、「COOL CHOICE」についてお聞きします。

「COOL CHOICE」という言葉を聞いたことがありましたか。
 (1つだけ)(入力必須)

[n=969]

あった(内容も知っていた)	106	10.9%
あった(内容は知らなかった)	111	11.5%
ない →Q4へ	752	77.6%

Q2: 本市が「COOL CHOICE」のメッセージやキャラクターをデザインしたラッピングバスを運行させていることを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=217]

知っていた	46	21.2%
知らなかった	171	78.8%

Q3: 本市がSNS(Twitter、Facebook)で「COOL CHOICE」の情報発信をしていることを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=217]

知っていた	51	23.5%
知らなかった	166	76.5%

Q4: 次のうち、現在、あなたが実践している「COOL CHOICE」の取り組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=969]

クールビズ・ウォームビズ	502	51.8%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買い換え	435	44.9%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	427	44.1%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	82	8.5%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	302	31.2%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	339	35.0%
エコカーへの買い換え	104	10.7%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	327	33.7%
レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	816	84.2%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	325	33.5%
節水シャワーへの交換	164	16.9%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	129	13.3%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	481	49.6%
地元の食材や季節のものを積極的に購入	330	34.1%
寒い日には体の中から温まる鍋にするなど、献立を工夫	367	37.9%
ない	29	3.0%
その他	13	1.3%

Q5: 次のうち、今後、あなたが実践したい「COOL CHOICE」の取り組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=969]

クールビズ・ウォームビズ	301	31.1%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買い換え	347	35.8%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	334	34.5%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	132	13.6%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	236	24.4%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	259	26.7%
エコカーへの買い換え	168	17.3%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	271	28.0%
レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	418	43.1%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	312	32.2%
節水シャワーへの交換	235	24.3%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	220	22.7%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	274	28.3%
地元の食材や季節のものを積極的に購入	369	38.1%
寒い日には体の中から温まる鍋にするなど、献立を工夫	326	33.6%
ない	58	6.0%
その他	14	1.4%

Q6: 次に、「パラスポーツ」についてお聞きします。

パラスポーツに興味・関心はありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=969]

ある	165	17.0%
どちらかといえばある	308	31.8%
どちらともいえない	225	23.2%
どちらかといえばない	152	15.7%
ない	119	12.3%

Q7: パラスポーツへの興味・関心を高めるには、どのようなものがあればいいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=969]

市内各所での体験会や講座	318	32.8%
障害のある人とない人が一緒にスポーツを楽しむ機会	435	44.9%
各競技での市民大会	218	22.5%
選手と触れ合える機会	268	27.7%
身近なところでの競技大会の観戦	509	52.5%
特になし	145	15.0%
その他()	25	2.6%

Q8: パラスポーツ大会を会場で観戦したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=969]

ある	124	12.8%
ない	845	87.2%

Q9: パラリンピックのほかにも障害のある選手が出場する国際大会として、スペシャルオリンピックス※1やデフリンピック※2がありますが、これらの大会を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=969]

両方とも知っていた	126	13.0%
スペシャルオリンピックスを知っていた	89	9.2%
デフリンピックを知っていた	70	7.2%
両方とも知らなかった	684	70.6%

Q10: 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催決定(2013年)から、障害のある人に対する理解がどのように変わっていると感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=969]

良くなった	129	13.3%
少し良くなった	413	42.6%
変わっていない	283	29.2%
少し悪くなった	2	0.2%
悪くなった	3	0.3%
わからない	139	14.3%

Q11: 障害のある人に対する市民の理解が、どの程度されていると感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=969]

よく理解されている	6	0.6%
おおむね理解されている	302	31.2%
あまり理解されていない	464	47.9%
まったく理解されていない	34	3.5%
わからない	163	16.8%

Q12: 障害のある人とない人が一緒にできるスポーツの体験会やイベント等に参加したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=969]

ある	112	11.6%
ない	857	88.4%

選択肢:その他()

Q7: パラスポーツへの興味・関心を高めるには、どのようなものがあればいいと思いますか。

<p>体験会・講座・観戦の無料イベントを行い、そのチラシを小中高学校で配布したり、図書館・コミュニティセンター/公民館・駅のラックなど目につく所に置く。理由は、図書館や公民館に来館する人は、講座などに興味がある人が多いので、そのような情報誌をよくチェックしていると思う。また、学校に配布すれば、自動的にたくさんの人が見るようになり、参加してみようと思う人も出てくる可能性がある。</p>
<p>ボッチャ数回、テコンドー1回の体験に参加。他の競技もしたいと思いましたが身近に気がつきませんでした。正直パラリンピックまで競う意味がわかりません…。これが偏見なのでしょう。か？誰だって、身心に障害があったって病弱だって、スポーツや音楽や芸術など好きなことに取り組み向上したい気持ちが同じなのはわかりますが。</p>
<p>大多数の人にとってTVの影響は大きいと思います。TVでパラスポーツの放映を増やす。NHKは率先してパラスポーツを放映すべきです。テニスの国枝さんや上地さんが国際大会で活躍しても放映がないのは不公平です。</p>
<p>お恥ずかしい話ですが、子育てしていると子どもの行事から得る情報が多いです。子どもの運動会の際のリレーにでもパラスポーツアスリートの方が参加できれば興味関心が高くなるかと思えます。</p>
<p>子供も参加できるものがあれば、親のわたしも一緒に参加したいと思う。自分のためだと行動に移しにくい、子供に経験させてあげたいという思いからだ、イベントに参加しやすいと思う。</p>
<p>質問の趣旨が、「自ら楽しむスポーツ」を前提としたものなのか、観戦対象としてのスポーツを企図しているのか不明で回答できない。</p>
<p>「障害者」関係なく楽しめる(対戦)スポーツを通じて、パラスポーツへの興味を持ってもらう。選手のファンを作る機会を増やす。</p>
<p>メディアで取り上げる。試合の日程、途中経過、結果をSNS等で積極的に発信する。</p>
<p>幼稚園、保育園、学校での体験会や選手との触れ合い試合。体育科目に取り込むなど。</p>
<p>用具やコートを設置やチーム運営への積極的な支援、補助。ボッチャやりたい。</p>
<p>パラスポーツへの興味・関心を高めなければいけない理由がよくわからない。</p>
<p>プロ野球リーグの様な、全国区でのプロパラスポーツリーグの創設。</p>
<p>パラスポーツのすばらしさや感動を伝えてくれる文学作品など。</p>
<p>今は、何よりもコロナ対策に資源を投入すべきと考えます。</p>
<p>支援者(例えば視覚障害者のガイド等)を増やす取り組み。</p>
<p>子供への啓発。子供が親を誘って参加できるような環境。</p>
<p>学校の授業で選手を呼んで楽しみを教わる。</p>
<p>イベントのTV放映など身近に感じる広報。</p>
<p>学校で普通学級と障害者を交流させる。</p>
<p>市政だよりやそのた配布物での広報。</p>
<p>オリンピックアスリートの講演会。</p>
<p>競技性、エンターテイメント性。</p>
<p>雑誌や新聞などへ記事掲載。</p>
<p>選手の話聞く。</p>
<p>媒体。</p>